

2025/12期Q1決算は回復のスタートラインにある

2025/12期Q1実績: 売上は増加に転じたが、経常利益は赤字

フロンティア・マネジメントは5月14日の引け後に2025/12期Q1決算を発表した。売上高は、2,434百万円と前年同期比12.7%増加し、2024/12期の前期比減収から増加に転じたが、営業利益は55百万円と同12.3%の減益となった。

投資事業関連の資金調達コストが負担となり、経常利益は74百万円の赤字となっている。FCI(フロンティア・キャピタル)除くベースの経常利益は、183百万円の黒字で前年同期比7.6%の増益であった。同社経営陣の説明では経費の削減が順調で、売上はQ2以降に増加する計画であり、年間の予想比較での進捗率は低く見えるが、計画に対して遅れていないとの説明であった。

経営コンサルティング事業は1,626百万円で同16.8%増と好調を継続し、再生支援事業が405百万円(同3.4%増)と増加に転じた。昨年度の低迷の原因であったM&Aアドバイザー事業は334百万円(同0.7%増)と増加に転じるも、水準はまだ低いままであった。

コンサルティング・アドバイザーセグメントのセグメント利益は、189百万円と16.7%の増益であったが、これまでの水準と比較するとまだ低い。

投資事業は2024年末に発表した投資案件が貢献し、売上は797.6%増加した。ただし、資金調達関連の費用の負担で、セグメント利益は133百万円の赤字であった。

2025/12期見通しは、変わらず。8月公表予定の中期経営計画に注目

生産性向上、M&Aアドバイザー事業の売上の安定化等で、回復の途上にある模様。投資事業部門では、Q2からホビーリンクジャパンが連結される計画である。のれんの償却により利益貢献は大きくはないが、投資事業の利益貢献が始まる見込み。5月には1件、契約が締結されており、コンサルティング・アドバイザーセグメントのセグメント以外の利益貢献も期待できよう。中期経営計画は、予定通りに8月13日に公表される見通しで、注目したい。

決算期	売上高 百万円	YoY %	営業利益 百万円	YoY %	経常利益 百万円	YoY %	当期利益 百万円	YoY %	EPS 円	DPS 円
2022/12	7,915	37.9	908	81.2	921	79.1	556	64.4	47.9	28.0
2023/12	10,025	26.6	1,251	37.8	1,238	34.4	780	40.2	67.5	41.0
2024/12	9,265	-7.6	-632	-	-710	-	-694	-	-59.2	0.0
2025/12(会予)	13,900	50.0	640	-	480	-	100	-	8.5	-
2024/12 Q1	2,161	-18.6	63	-86.9	72	-84.8	13	-94.9	1.1	-
2025/12 Q1	2,434	12.7	55	-12.3	-74	-	-129	-	-11.0	-

出所：同社資料より SIR作成

注：SIRでの財務データ処理は短信規定と異なるため記載数字は会社資料と相違することがある。

Q1 Flash



アナリスト 山中威人

research@sessapartners.co.jp



本レポートは当該企業からの委託を受けてSESSAパートナーズが作成しました。詳しくは巻末のディスクレイマーをご覧ください。

ディスクレーマー／免責事項

本レポートは対象企業についての情報を提供することを目的としており投資の勧誘や推奨を意図したものではありません。本レポートに掲載されたデータ・情報は弊社が信頼できると判断したのですが、その信憑性、正確性等について一切保証するものではありません。

本レポートは当該企業からの委託に基づきSESSAパートナーズが作成し、対価として報酬を得ています。SESSAパートナーズの役員・従業員は当該企業の発行する有価証券について売買等の取引を行っているか、または将来行う可能性があります。そのため当レポートに記載された予想や分析は客観性を伴わないことがあります。本レポートの使用に基づいた商取引からの損失についてSESSAパートナーズは一切の責任を負いません。当レポートの著作権はSESSAパートナーズに帰属します。当レポートを修正・加工したり複製物の配布・転送は著作権の侵害に該当し固く禁じられています。



SESSAパートナーズ株式会社

東京都港区麻布十番2-8-14 i-o Azabu 5a
info@sessapartners.co.jp